科目ナンバー	LIN-1-015-sn 科目名 国語表現 (情報 F1 • F2)						
					2		
教員名 概要 到達目標 「共愛12のカ」との 識見 共生のための知識 共生のための態度	書くこと」に無めは、誰に対手(表現す)と対している。 できる できる できる できる できる できる から はい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱ	これからの大学生活 点を当てた日本語ま しても、正確で快いこ なるためには、相手で の第一は、受講者ー 常生活において、自 のように書けばよいか 番基本スキルの習得で ないな技術を学びます 自己を理解する力 自己を理解する力	や社会生活に受現のスキルでとばの使い手のことを考えが一人一人が書からです。レポートー。	こ必要な日本記 アップを目指し (表現者)でな た表現、相手を くことの基本を い情報や思いる 員で探ります。	語表現(主に「書くこます。これからのほければなりませんを思いやる表現を常いでる表現を常いません。自分なりを、より正確によりな目標の第二は、大成、またその準備と	国際社会に生きてい の。理想的なことばの 常に心がけることが に表現する「コツ」を 効率よく、相手に快く 学での学習・研究生	くた)使い 可よ 会得す (伝 ≣活に
グローカル・マイ ンド		主体性	関	係を構築する	5力 3	ミ践的スキル	0
〈教授法〉 グループでの演習的学習と講義的な学習を1:2の割合で行います。 グループでの演習的学習は、受講者を数人のグループに分け、それぞれのグループに課題を出します。 各グループは課題の検討を通して、よりよいコミュニケーションとしての日本語の書き方を考え、受講 者全員の前で発表します。発表後、受講者全員で課題と発表について討議を行います。 講義的な学習は大学生のための日本語表現のトレーニングとして、文章表現の基本や文章の要約の仕方、レポートや論文の書き方などを学習をします。こちらは一斉・個別学習で行います。 〈課題のフィードバック方法〉 グループでの演習的学習では、発表後に、教員がコメント、助言、指導を行います。 講義的な学習では、授業中での指導に加え、学習確認シートや課題の返却を通して適宜指導を行います。 のまずでは、授業中での指導に加え、学習確認シートや課題の返却を通して適宜指導を行います。 第1回の授業は必ず出席すること。 〈アセスメントポリシー〉 授業への取り組みについては、「共生のための知識」「共生のための態度」「伝え合う力」「協働する力」として、総合的に評価します。 レポートについては、「分析し、思考する力」「構想し、実行する力」「実践的スキル」として、総合的に評価します。 〈評価方法〉 授業への取り組み(平常点、発表、意見交換や討論、学習確認シート)(60%) レポート(提出を求められるレポート、全授業後に提出するレポート)(40%)							
 教材		□の「日本語検定」2級□に新聞に投書が採用 目意します。					(宋計)。
参考図書	野田尚史・森口稔2003『日本語を書くトレーニング』(ひつじ書房)野田春美ほか2016『グループワークで日本語表現カアップ』(ひつじ書房)学習技術研究会編2002『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』(くろしお出版)三上直之2005『「超」読解カ』(講談社+α新書)深尾紀子2007『就職活動のための文章表現力基本テキスト』(日本能率協会マネジメントセンター)						
内容・スケジュール 1週目 授業学修内容		業の概要)、お願いケ	イタイメール	の書き方			
授業外学修内		までに書いたケイタイ			修正すべき点	時間数 1	

授業学修内容	文章表現の基本(原稿用紙の使い方、句読点の打ち方、記号の使い方、文体の追ばの違い、呼応関係、わかりやすい文章の書き方、読ませる文章の書き方)	望い、詰しこと 	ばと書きこと 	
授業外学修内	原稿用紙の使い方、句読点の打ち方、記号の使い方、文体の違い、話しことばと書きことばの違い、呼応関係、わかりやすい文章の書き方、読ませる文章の	時間数	1	
容	書き方について、高校の教科書や国語便覧などを見返して、復習しよう。			
3週目	•	<u> </u>	<u> </u>	
	大学のラジオCMを作ろう			
	言葉(音声)だけで、アピールしたいことを印象的に伝えるにはどのようなエ			
授業外学修内	夫をすればよいか考えよう。手元にある家庭用電化製品などのマニュアルを		1	
容	見て、子どもやお年寄りが読んでも理解できるようにするにはどのように書 けばよいか考えよう。	時間数		
4週目				
授業学修内容	<演習>お知らせ文書の書き方			
授業外学修内	自分が受け取った文書やメールを目返し、多数の人に一吝に発信する文書を			
容	書くときには、どのようなことに気を付かなければならないか考えよう。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
5週目				
授業学修内容	短い文章の書き方(投稿)			
授業外学修内	新聞の投車欄を読み、実時間文章で自分の伝えたいことを 書くために はどの			
容	ような書き方をすればよいか考えよう。	時間数		
6週目				
授業学修内容	文章の読み方(マーキング)			
授業外学修内	重要と思われる箇所に線を引きながら新書(説明的な文章)を1冊読んでみよ	n士 88 半L	2	
容	う。	時間数	2	
7週目				
授業学修内容	<演習>企画書の書き方			
授業外学修内 容	企画書とはどのようなものなのか、インターネットで調べてみよう。	時間数	1	
 8週目		<u>L</u>	<u> </u>	
	要約の仕方PC使用			
授業外学修内				
容	第6回に読んだ新書(説明的な文章)を要約してみよう。	時間数	2	
9週目	T .			
授業学修内容	<演習>アンケート用紙の書き方			
授業外学修内 容	アンケート用紙を作ってみよう。		1	
10週目				
授業学修内容	レポート・論文の書き方(1)レポート制作の過程*課題レポートテーマの出題			
授業外学修内 容	自分のレポートのテーマについて考えよう。	時間数	1	
11週目				
授業学修内容	<演習>レポート・論文の書き方(2)「はじめに」の書き方(教科書14)			
	自分のレポートのテーマに沿った図書を1冊(1冊目)読もう。		2	
 12週目	1			
<u></u> 授業学修内容	レポート・論文の書き方(3)形式、体裁、参考文献の書き方PC使用			
及来于修行 <u>日</u> 授業外学修内				
容	自分のレポートのテーマに沿った図書を1冊(2冊目)読もう。	時間数	2	
13週目				
授業学修内容	<演習>レポート・論文の書き方(4)「本文」の書き方(教科書14)			
授業外学修内 容	レポートを書こう。	時間数	2	
н		Ī	1	

授業学修内容	書類の書き方				
授業外学修内 容	自己アピールと履歴書を書いてみよう。 時間数 2				
15週目					
授業学修内容	手紙の書き方、まとめ*レポートの提出				
授業外学修内 容	レポートを推敲しよう。	時間数	1		
上記の授業外学修時間の合計 21					
その他に必要な自習時間 69					

Number	LIN-1-015-sn		Japanese Expression		
Name	青木 祐子(Aoki Yuko)	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	2
Course 0	In this course, we will think about and learn Japanese expressions (particularly writing) that will be necessary in both university andsociety. In order to live in the international society of the future, we must be able to accurately and pleasantly express ourselves toanyone. In order to express ourselves ideally, it is most important to always use expressions that think about and are considerate of theperson you are talking to.				